

インマヌエル中目黒キリスト教会  
2010年3月14日

ジョイフル・アワー

「『めぐみ』って、  
よいことばですね」

竿代 照夫 牧師

## 聖書の言葉：

「私たちの主の、この恵みは、  
キリスト・イエスにある  
信仰と愛とともに、  
ますます満ちあふれるよう  
になりました。」

(第一テモテ1：14)

## ■日本語の「めぐみ」

「めぐし」（目が苦しい）

＝「見るのも切ないほど可愛い」

「憐れみをもよおす」

「相手をいたわる」

■聖書で言う「めぐみ」  
(grace, xaris)

「与える価値のないものに  
注がれる神の豊かな顧み」

## ■アメージング・グレイス

(ジョン・ニュートン作詞)

Amazing grace! How sweet the sound  
驚くばかりの恵み！その言葉の響きの甘美さよ！

That saved a wretch like me!  
その恵が私のような惨めな人間を  
救ってくださった

I once was lost, but now am found;  
かつて私は失われたものだったが、  
今や見出された

Was blind, but now I see.  
かつては盲目であったが、  
今は見ることができる

# ジョン・ニュートン



# ■ ジョン・ニュートン (1725-1807)

- 父は、商船の指揮官
- 祈り深い母は、  
ジョン7歳のとき他界
- 父が後妻を迎えて間もなく  
寄宿舎に
- 10歳で学校を飛び出し、  
父の船に乗り込む

- 荒くれた少年船員生活から  
奴隷船員へ
- 22歳で奴隷船の船長
- 大嵐に遭い、心底から悔い改め、  
キリストに従う決心をする
- 28歳で神学校に入り牧師となる
- 「アメイジング・グレイス」を  
生む



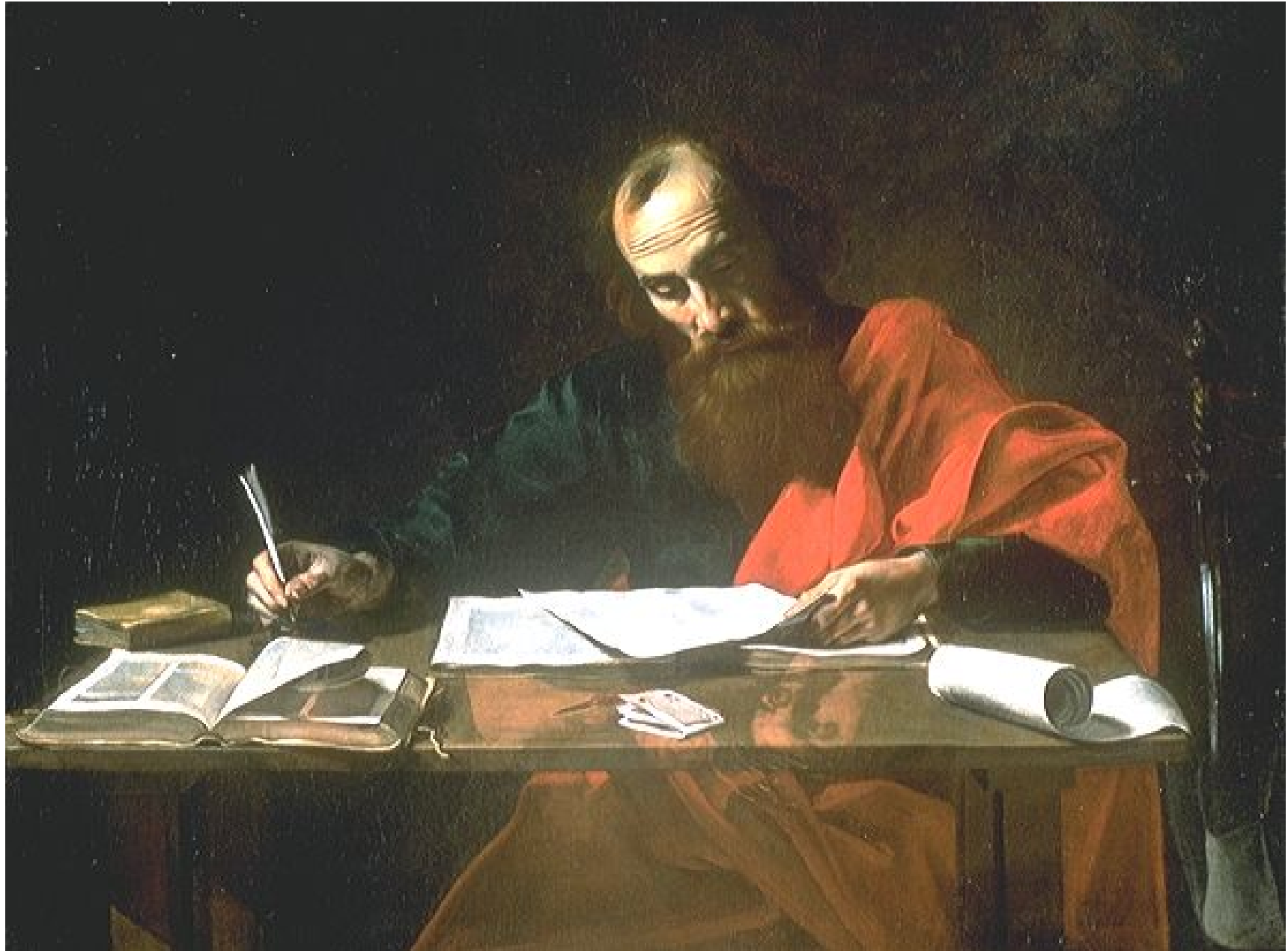
# アウグスティヌス



## ■ アウグスティヌス(354ー430)

- ・ 北アフリカ・タガステ村出身
- ・ 母モニカは敬虔な祈りの人
- ・ カルタゴで修辞学を学ぶ
- ・ 優秀な学生(後には教授)でありつつ、私生活は乱脈
- ・ 当時の新興宗教・マニ教に凝る
- ・ 32歳でキリストを受け入れ、  
一変
- ・ 中世最大の神学者となる

# サウロ(パウロ)



# ■ サウロ (後の名をパウロ) (0-67)

- キリキヤ州タルソ生まれ  
(コスモポリタンの環境)
- 厳しいユダヤ教の家庭で育つ  
チョー真面目青年
- 律法学者・ガマリエル門下の  
優等生

- キリスト教がユダヤ教を破壊すると思い、伝道者ステパノを石打ちに
- 狂気のような教会迫害に進む
- 34歳頃、ダマスコへの道で復活のキリストに出会い、回心
- 1世紀最大の宣教師に

## ■三人の青年に共通するもの

- 恵を伝える人との出会い
- 自分の罪深さの自覚
- 神の恵みに寄り縋る信仰
- 恵によって変えられた人生

私たちにも！

同じ恵が備えられている